「南の世界」の利益は、非同盟・中立に

S・ジャイシャンカル（インド外相）
2023 年 1 月 13 日
Virtual Meetings Detail (mea.gov.in)

インドの S.ジャイシャンカル外相は 1 月 13 日、政府が主宰した「グローバル・サウスの声」サミットの外相会合の開会あいさつで、「南の世界」の利益を中心に据えるなら、非同盟・中立の道をとらなければならないと強調しました。以下はそのスピーチ全文です。

2023 年「南の世界の声」サミットの G20 に関する外相会合に皆様をお迎えすることができ、大変光栄に思います。G20 議長国として、強調すべき集団的な優先事項について、皆様のご意見を伺えることを楽しみにしております。

今日、私がご一緒している方々とは、インドが展望する共通の未来だけでなく、共通の過去をも共有しております。**私たちの多くは植民地時代の過去の重荷を背負い、現在でも世界秩序の不公平さに直面しています。**このことは、制度だけでなく、さまざまな面や形で表れています。私たちはより速く均衡をとりもどし、さらなる多極化と改革された多国間主義を推進していますが、この時代の重要なグローバルな対話に私たちの懸念と課題を反映することが不可欠です。これまで多くの G20 サミットの経験を通じて、私たちは G20 で皆さんの声が代弁できるように、私たちの間で協議する必要性を強く感じています。

最近の情勢は、「南の世界」のストレスと不安をますます増大させています。多くの国々が、継続が不可能な負債や実現不可能なプロジェクト、貿易障壁、資金フローの縮小、気候変動への圧力に直面しています。加えて、新型コロナの大流行による被害が広がり、それへの世界的な対応にはきわだった差別的な行いがありました。そのなかではっきりと露呈したのは、過度に中央集権化されたグローバリゼーションと信頼性のないサプライチェーンの危険性です。そして、**より民主的で公平な世界は、能力を多様化し地域化することによってしか築かれないことを思い知らされました。**

それだけでも大変なのに、ウクライナ紛争の影響が経済状況をさらに複雑にしています。燃料、食料、肥料のコストと入手可能性は、私たちの多くにとって大きな懸念事項となっています。貿易や商業サービスの混乱も同様です。しかし、グローバルな会議では、これらの問題が何一つとして注目されることはありませんでした。**国連に限って言えば、1945 年に創設された機構が凍結されたままで、加盟国の幅広い関心事を明確にすることができていません。一部の大国は自国の利益のみを追求し、国際社会の福利を考慮にいれないままです。**G20 は、そのメンバー構成を反映して独自の課題に焦点をあててきました。私たちは、これを変える道を探しています。

インドが議長を務める G20 における優先事項は、G20 のパートナーだけでなく、「南の世界」の仲間との協議のもとに決定されます。これは、インドがアジェンダを明確にし、「南の世界」が道を示す機会です。インドは議長国の機関、21 世紀のための「改革された多国間主義」と制度を優先課題にし、国連開発目標（SDGs）の進捗を加速するための決定と力強い集団的行動に焦点を当てます。開発アジェンダと気候変動目標の補完性を中心に据えつつ、気候変動対策に LiFE アプローチで取り組みます。多くの国々が直面している増大するテロの脅威に関する課題に対処するための国際協力の強化に焦点を当てます。

私たちは、これらの目標に向けて努力を重ねるにあたって、人類家族の一員として行動してまいります。

私たちは、グローバリゼーションの新しいパラダイムに向けて集団的に取り組み、弱者に焦点を当てた人類の幸福をめざすべきです。

私たちは、自国の若く才能ある人々が、世界中の機会にアクセスする際に直面する壁を取り払うために努力します。

私たちは、食料及びエネルギーの安全保障に対する現在の課題に対処し、脆弱なコミュニティが必要としている人道的ニーズが遅滞なく確実に提供されるよう集団的な努力を行います。

私たちは、G20 首脳による「グリーン開発協定」の合意を得ることを約束します。これは、今後 10 年間の強力な行動の青写真であり、世界中でグリーン開発を促進するものです。また持続可能なライフスタイルへの投資や気候変動対策のためのグリーン水素の活用、SDGs の進捗を加速して行われるでしょう。

私たちは、開発のためのデータについて議論しています。SDGs の進捗を促進し、私たち全員に機会を創出するために、特に「南の世界」のデータ関連能力、イノベーション技術に関する国際協力が必要です。この目的のために、私たちはマルチステークホルダーアプローチ（複数の利害関係者を重視する手法）を通じて、各国のデジタル格差の解消に焦点を当てることを目指します。

私たちは、資源や開発のひな形、それぞれ独自の経験や知識ベースを互いに共有する努力を強化し、「南の世界」のパートナーとして強い連帯感を示していきたいと考えています。

モディ首相は、今は戦争の時代ではないと宣言しています。「我々と彼ら」という考え方を捨て、一つの人類家族として協力し合うことが必要であると述べています。南の世界に住む私たちの多くにとって、この感情は非常に馴染み深いものです。**脱植民地化の運動から、深く分極化した世界での同盟への抵抗まで、「南の世界」は常に中道の路線を示してきました。それは競争、紛争、分裂よりも外交、対話、協力を優先する道です。**平和、協力、多国間主義を選択することは、膨大な橋渡しを必要とする非常に忍耐強い努力であることを私たちは皆知っています。しかし、**「南の世界」の利益をその中核に据えようとするならば、世界はその道をとらなければなりません。**私たちは、皆様のご意見を歓迎し、G20 議長国として「南の世界」の声を反映させていくことを約束します。

どんなに困難な課題であっても、私たちは共に前進しなければなりません。一丸となって行動することによってのみ、成功する可能性があり、成功しなければなりません。私たちは、大統領府のモットーに表明されている相互依存と協力を十分に認識しなければなりません。「一つの地球、一つの家族、一つの未来」。皆様の声がこの会議を通じて私たちを導き、鼓舞してくれることでしょう。

ご清聴ありがとうございました。（了）

【翻訳　田中靖宏】